2026年度

学部３年次編入
短期大学 専攻科 音楽専攻
入学試験要項

くらしき作陽大学

音楽学部／食文化学部／子ども教育学部

作陽短期大学

専攻科 音楽専攻

目次 | Contents

1. 入学者受入れの方針
（アドミッション・ポリシー） …… 3

2. 募集学科, コース, 専修, 専攻, 募集人員 …… 4

3. 学費 …… 5

4. 入学手続き …… 6

5. 入学検定料 …… 6

6. 特待生制度 …… 6

7. 奨学金等 …… 7

8. 長期履修制度 …… 8

9. 受験上の注意 …… 8

10. 編入学年と編入学後の単位認定 …… 9

11. 宿泊案内（倉敷市内） …… 10

音楽学部 …… 11

専攻科 音楽専攻 …… 18

食文化学部 …… 23

子ども教育学部 …… 27

大学までのアクセス …… 31

1. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

くらしき作陽大学では，本学のディプロマ・ポリシー，カリキュラム・ポリシーに基づいて，下記のような人を受け入れます。

（1）本学の建学の精神のもとに人間形成に努め，学ぶ意欲のある人
（2）学修に必要な専門的技術や基礎学力を身につけている人
（3）目標をもって努力を続けることができる人

音楽学部

（1）本学の建学の精神のもとに人間形成に努め，学ぶ意欲のある人
（2）音楽に関する学修に必要な専門的技術と基礎学力を身につけている人
（3）音楽に関する専門的能力を生かした職業人を目指す人

食文化学部

（1）本学の建学の精神のもとに人間形成に努め，学ぶ意欲のある人
（2）食に関する学修に必要な基礎学力を身につけている人
（3）食に関する専門的能力を生かした職業人を目指す人

子ども教育学部

（1）本学の建学の精神のもとに人間形成に努め，学ぶ意欲のある人
（2）保育，教育，および子育て支援に関する学修に必要な基礎学力を身につけている人
（3）子どもの保育と教育に関する専門的能力を生かした職業人を目指す人

短期大学

作陽短期大学では，本学のディプロマ・ポリシー，カリキュラム・ポリシーに基づいて，下記のような人を受け入れます。

（1）本学の建学の精神のもとに人間形成に努め，学ぶ意欲のある人
（2）本学での学修に必要な技能と基礎学力を身につけている人
（3）本学での学修を生かした職業人を目指す人

2. 募集学科，コース，専修，専攻，募集人員

音楽学部

学　　科	コース	専　　修	募集人員
音楽学科	演奏芸術コース	ピアノ（オルガンを含む），声楽，管楽器・打楽器（吹奏楽指導を含む），弦楽器（ハープを含む），作曲・指揮，邦楽（箏曲），音楽総合	5
	教育文化コース	音楽教育（ピアノ，声楽，管・打，弦），音楽デザイン	

食文化学部

学　　科	募集人員
栄養学科	若干名
食マネジメント学科	若干名

子ども教育学部

学　　科	募集人員
子ども教育学科	若干名

短期大学 専攻科 音楽専攻（1年課程）

専　　修	募集人員
ピアノ，声楽，管楽器，弦楽器，打楽器，邦楽（箏曲）	若干名

3.学　費

音楽学部

学科・コース			入学金	授業料	教育運営費	計	初年度納入額
音楽学科	演奏芸術コース	前期	500,000円	564,000円	310,000円	1,374,000円	2,248,000円
		後期	−	564,000円	310,000円	874,000円	
	教育文化コース	前期	500,000円	500,000円	310,000円	1,310,000円	2,120,000円
		後期	−	500,000円	310,000円	810,000円	

• 上記以外に後援会費（特別会費含む）30,000 円，同窓会費（入会金含む）15,000 円，学生災害保険（2 年間分）2,080 円が必要です。これとは別に学生会費が必要です。また，これらの費用についてのみ若干改定することがあります。
なお，後援会費（特別会費含む）と学生会費は，卒業まで学期ごとに必要です。

食文化学部

学　科		入学金	授業料	教育運営費	計	初年度納入額
栄養学科	前期	250,000円	370,000円	200,000円	820,000円	1,390,000円
	後期	−	370,000円	200,000円	570,000円	
食マネジメント学科	前期	250,000円	370,000円	150,000円	770,000円	1,290,000円
	後期	−	370,000円	150,000円	520,000円	

• 上記以外に後援会費（特別会費含む）30,000 円，同窓会費（入会金含む）15,000 円，学生災害保険（2 年間分）2,080 円が必要です。これとは別に学生会費が必要です。また，これらの費用についてのみ若干改定することがあります。なお，後援会費（特別会費含む）と学生会費は，卒業まで学期ごとに必要です。
• 入学後，個人所有のノートパソコンが必要です。仕様については入学手続きの際お知らせいたします。

子ども教育学部

学　科		入学金	授業料	教育運営費	計	初年度納入額
子ども教育学科	前期	250,000円	350,000円	150,000円	750,000円	1,250,000円
	後期	−	350,000円	150,000円	500,000円	

• 上記以外に後援会費（特別会費含む）30,000 円，同窓会費（入会金含む）15,000 円，学生災害保険（2 年間分）2,080 円が必要です。これとは別に学生会費が必要です。また，これらの費用についてのみ若干改定することがあります。なお，後援会費（特別会費含む）と学生会費は，卒業まで学期ごとに必要です。
• 入学後，個人所有のノートパソコンが必要です。仕様については入学手続きの際お知らせいたします。

短期大学 専攻科 音楽専攻

	入学金	授業料	教育運営費	計	初年度納入額
前期	210,000円	140,000円	150,000円	500,000円	790,000円
後期	−	140,000円	150,000円	290,000円	

• 上記以外に後援会費 12,000 円，学生災害保険（1 年間分）1,140 円が必要です。また，これらの費用についてのみ若干改定することがあります。
なお，後援会費は後期も 12,000 円が必要です。

4. 入学手続き

提出された入学手続書類および納入された入学金，学費等は返還しません。ただし学費等納入手続まで完了した後に本学への入学を辞退する者は，その旨を連絡し本学所定の「入学辞退届および学費等返還願書」を2026年3月31日（火）17：00（必着）までに提出してください。入学金を除く納入された学費等納入金を返還します。なお，学費等納入金の返還は2026年4月以降になる場合があります。本学所定の「入学辞退届および学費等返還願書」は申し出により送付します。

- 専願合格者は除く。

5. 入学検定料

学部，専攻科	検　定　料
音楽学部	30,000 円
食文化学部	30,000 円
子ども教育学部	30,000 円
短期大学 専攻科 音楽専攻	30,000 円

- 一旦納入された入学検定料は，いかなる理由があっても返還しません。
- 本学を受験する場合に限り，2回目以降の入学検定料を免除する制度があります。
  詳細は入試広報室までお問い合わせください。

6. 特待生制度

この制度は，特に優秀な編入学生に対する修学研究上の援助を目的としています。

- 食文化学部，子ども教育学部，短期大学 専攻科には編入学試験における特待生制度はありません。

音楽学部

希望者は，願書に制度利用希望の有無を記入し編入学試験においてオーディション参加資格を取得してください。
オーディション参加資格を得た者は，2月下旬に実施される特待生オーディションを受験してください。
（特待生制度を利用できるのは，I期およびII期入学試験受験者に限ります。）

（注）4 年次には授業料の一部が免除される特待生制度があります。

- 本制度合格者は専願であることから，入学手続き書類の返却および学費等は返還しません。

7. 奨学金等

(1) くらしき作陽大学・作陽短期大学　特待生制度〔在学生対象〕

本学の在学生（大学院を除く）で，特に優れた能力を持っており，心身共に健康で学術研究向上に熱意のある者に対して，次のいずれかの特典が与えられます。なお，特待生の採用は1年毎に行われます。

①授業料半額免除または減免

②授業料1/4免除または減免

(2) 卒業生の子の入学金減免制度

入学生（大学院生を除く）の保護者（戸籍上の両親）が本学（くらしき作陽大学，作陽音楽大学，作陽音楽短期大学，作陽短期大学）の卒業生である場合に入学金を還付する制度です。

該当する学生は所定の期日までに学生支援室に申し出て，その指示に従って必要書類を提出してください。ただし，特待生制度と本制度の併用はできません。

(3) 兄弟姉妹が同時に在学する場合の授業料減免制度

生計を一にする兄弟姉妹が同時にくらしき作陽大学または作陽短期大学に在学する場合，同時に在学する期間，2人目以降の学生の授業料の半額を還付する制度です。

該当者は所定の期日までに学生支援室に申し出て，その指示に従い還付手続きを行わなければなりません。ただし，特待生制度と本制度の併用はできません。

(4) くらしき作陽大学・作陽短期大学　教育ローン利子補給奨学金制度

本学の学生（入学予定者を含む）の内，経済的な理由により学費納入が困難なため，保護者等の学資支持者が，本学の指定する金融機関等から教育ローンの融資を受けた場合，学生納付金相当額の在学中における借入金に係る利子を奨学金として本学が支給する制度です。

奨学生の募集方法・申込み資格等は，掲示により通知します。

(5) 松田藤子記念奨学金

この制度は，本学園の創設者である松田藤子学園長のご遺志に基づき，卒業年度において学資支援者の死亡・自然災害被害等により学費納入が著しく困難と認められる者に給付します。

(6) 日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構が行っている奨学金貸与制度で次の4種があります。

奨学生の募集方法，申込み資格等はオリエンテーション及び掲示により通知します。

ア．第一種奨学金（無利息貸与）　貸与月額

	大学	短大
自宅外通学	20,000円	20,000円
	30,000円	30,000円
	40,000円	40,000円
	50,000円	50,000円
	64,000円	60,000円
自宅通学	20,000円	20,000円
	30,000円	30,000円
	40,000円	40,000円
	54,000円	53,000円

イ．第二種奨学金（有利子貸与）　貸与月額　月額20,000～120,000円（10,000円単位）から本人の希望により決定します。

ウ．給付型奨学金　給付月額　支援区分による。

エ．緊急・応急採用　家計の急変等に対応した奨学金貸与制度です。

※2026年度の募集内容は変更される場合があります。詳細は学生支援室 奨学金担当までお問合わせください。

(7) 高等教育の修学支援制度による授業料減免

くらしき作陽大学・作陽短期大学は，国による「高等教育の修学支援制度」の対象校として認定を受け，支援措置の対象となる住民税非課税世帯（第Ⅰ区分）及びそれに準ずる世帯（第Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ区分）であるくらしき作陽大学（大学院除く）・作陽短期大学（専攻科除く）の学生に対して，授業料等（授業料，入学金）減免の支援を行います。申し込み資格は，日本学生支援機構の給付型奨学金制度の認定を受けた方です。該当する学生は，入学後所定の期日までに授業料等減免申請書を提出してください。

8. 長期履修制度

次の資格を有する者は，長期履修制度を利用することができます。

合格者のうち，次のいずれかに該当する者

(1) 職業を有し，就業しており，標準修業年限内の卒業・修了が困難である者

(2) その他やむを得ない事情を有し，標準修業年限内の卒業・修了が困難である者

(3) 自身の履修計画により，長期にわたり計画的に履修することを希望する者

修業年限は，

長期履修を認める期間

くらしき作陽大学 3 年次編入生・・・標準修業年2年間を 3 年間とする。

- 長期履修を認める期間は1年単位とする。

定員，人数制限は設けない。

この制度の内容は，入試広報室までお問合わせください。

9. 受験上の注意

受験にあたっては，以下のことに十分注意してください。

(1) 試験会場には，特別な指示がない限り，試験の始まる 10 分前までに入室してください。

(2) 机上には受験票・筆記用具・時計だけを置き，その他の持ち物は机の下に置いてください。

(3) 計算・翻訳機能付の時計の使用は認めません。

(4) 携帯電話等の電源はあらかじめ切り，かばんの中にしまってください。

(5) 受験票は試験当日必ず持参し，机上に貼ってある受験番号票のそばに置いてください。万一受験票を持参しなかった場合や紛失した場合は，受付まで申し出てください。

(6) 試験中はすべて監督者の指示に従ってください。試験中に用事があるときは，挙手して監督者の指示を待ってください。

(7) 試験開始後 20 分までの遅刻者は入室を許可します。ただし，試験時間の延長は認めません。

(8) 試験開始後 20 分を超えて遅刻した者は受験できません。事故等により遅刻するときは，入試広報室（0120-911-394）まで連絡し，指示を受けてください。

(9) 試験開始後は試験終了まで退出できません。

(10) 配布された問題用紙等はすべて回収しますので持ち出さないでください。

(11) 1 科目でも受験しなかった場合や，試験中不正行為があった場合は，受験資格を失います。

(12) 上履きは不要です。

〈入学試験期間中の練習（音楽学部・短期大学専攻科音楽専攻のみ）〉

入学試験期間中は，本学練習棟（4 号館）が下記のとおり利用できますので，試験当日に練習棟受付にて直接申し込んでください。なお，電話での申込みはできません。（使用料無料）

	受付時間	利用時間
試　験　期　間　中	9：30～16：00	9：30～17：00

〈入学試験期間中の昼食〉

入学試験期間中は学生食堂（7 号館）を利用できます。（但し，学生食堂は営業していませんので各自でご準備ください。）

10. 編入学年と編入学後の単位認定

音楽学部

合格者は音楽学部3年次に編入が認められます。編入学前の在籍校・大学で修得した単位は,次のように本学の単位として認められます。

音楽学科

(1) 本学が開設する科目に該当すると判断されるものは,卒業に必要な単位として認定されます。
(2) 卒業要件単位数は,合計124単位以上です。これから(1)で認定された単位数を差し引いた残りの単位数を修得すれば,卒業要件を充たすことになります。

- 編入学時における修得単位数によっては,卒業のために編入学後2年を超える在学年数が必要となる場合があります。

食文化学部

合格者は食文化学部3年次に編入学が認められます。編入学前の他大学・短期大学・専修学校で修得した単位は,次のように本学部の単位として認定されます。

栄養学科

(1) 本学が開設する科目(p.26参照)に該当すると判断されるものは,卒業に必要な単位として認定されます。
(2) 栄養学科の卒業要件単位数は,合計124単位以上です。上記(1)により認定された単位数を差し引いた残りの単位数を修得すれば,卒業要件を充たすことになります。
ただし,編入学時における既修得単位数により,編入学後2年を超える在学年数を必要とする場合があります。
(3) 編入学までに大学,短期大学,専修学校等において英語を履修していることが望ましいです。
(4) 食品衛生管理者・食品衛生監視員資格を取得希望の者は,必要な科目を本学で履修しなければなりません(厚生労働省により当該の資格が認可されていない大学,短期大学等での修得科目は当該の資格取得のための単位としては認定されません)。

食マネジメント学科

(1) 本学が開設する科目(p.26参照)に該当すると判断されるものは,卒業に必要な単位として認定されます。
(2) 食マネジメント学科の卒業要件単位数は,合計124単位以上です。上記(1)により認定された単位数を差し引いた残りの単位数を修得すれば,卒業要件を充たすことになります。
ただし,編入学時における既修得単位数により,編入学後2年を超える在学年数を必要とする場合があります。
(3) 編入学までに大学,短期大学,専修学校等において,英語を履修していることが望ましいです。
(4) 食品衛生管理者・食品衛生監視員資格を取得希望の者は,必要な科目を本学で履修しなければなりません(厚生労働省により当資格が認可されていない大学,短期大学等での修得科目は当資格取得のための単位としては認定されません)。

- どの学科を志望するにしても,在学時の学生便覧やシラバス(カリキュラムの詳細がわかるもの)を出願締切日の10日前までに本学入試広報室へ提出し,編入学後2年間で卒業要件を充たすことが可能かどうか,希望する免許・資格の取得が可能かどうかを確認することが望ましいです。

子ども教育学部

合格者は子ども教育学部3年次に編入学が認められます。編入学前の他大学・短期大学・専修学校で修得した単位は,次のように本学部の単位として認定されます。

子ども教育学科

(1)本学が開設する科目(p.30参照)に該当すると判断されるものは,卒業に必要な単位として認定されます。
(2)子ども教育学科の卒業要件単位数は,合計124単位以上です。上記(1)により認定された単位数を差し引いた残りの単位数を修得すれば,卒業要件を充たすことになります。
ただし,編入学時における既修得単位数により,編入学後2年を超える在学年数を必要とする場合があります。
(3)編入学までに大学,短期大学,専修学校等において,英語を履修していることが望ましいです。

- 保育士養成課程の修了または修了見込み以外の者は,在学時の学生便覧やシラバス(カリキュラムの詳細がわかるもの)を出願締切日の10日前までに本学入試広報室へ提出し,編入学後2年間で卒業要件を充たすことが可能かどうかを確認してください。

11. 宿泊案内(倉敷市内)

■ 宿泊先のご案内

新倉敷地区 所要時間は新倉敷駅から宿泊施設まで	宿泊施設名	所在地	電話番号	所要時間
	①セントイン倉敷	倉敷市新倉敷駅前5丁目203	(086)526-8911	徒歩　15分

音楽学部・短期大学

■音楽学部

□音楽学科（演奏芸術コース，教育文化コース）

出願資格

（1）短期大学の音楽に関する学科または課程を卒業した者，または 2026 年3月卒業見込みの者
（2）大学の音楽に関する学科または課程に2年間以上在籍（62 単位以上修得）した者，または 2026 年3月 31 日で2年間以上在籍する見込みの者
（3）専修学校の専門課程（修業年限が2年以上で，かつ課程の修了に必要な総授業時間数が 1,700 時間以上のものに限る）の修了者，または 2026 年3月修了見込みの者
（4）高等専門学校を卒業した者，または 2026 年3月卒業見込みの者
- 事前に入試広報室へお問い合わせください。

（5）前各号に掲げる者と同等以上の学力を有すると認められる者（4年制大学の学部2年次以上で 62 単位以上修得した者または 2026 年3月修得見込みの者，学士の学位または短期大学士の称号を既に修得している者，または 2026 年3月修得見込みの者等）
- 音楽系大学以外の出身で本学科に出願希望の方と，教育文化コースを出願希望の方は，出願期間までに入試広報室へお問い合わせください。
- 心身に障がいや不慮の事故による負傷者・疾病者で，受験上または就学にあたり配慮を希望する場合は，出願前に入試広報室までご相談ください。

入学検定料と出願書類

- 入学検定料　30,000 円
- 出願書類については，p.22 を参照してください。

日　　程

期	出願期間	試験日	合格発表	入学金納入期限	学費等納入期限
Ⅰ期	2025年 12月 2日（火）～ 12月 9日（火）［必着］	12月13日（土）	12月19日（金）	2026年 1月 9日（金）	1月23日（金）
Ⅱ期	2026年 1月13日（火）～ 1月21日（水）［必着］	2月 3日（火）、2月 4日（水）	2月13日（金）	2月20日（金）	2月27日（金）
Ⅲ期	2026年 2月20日（金）～ 3月 5日（木）［必着］	3月11日（水）	3月19日（木）	3月26日（木）	3月26日（木）

試験会場

本学（くらしき作陽大学）

合格発表

- 合否の結果通知は郵送とホームページで行います。なお，ホームページの合否結果の掲載期間は合格発表日の正午から3日間です。

試験科目と配点および判定方法

【音楽学部　音楽学科　演奏芸術コース　3年次編入】

専　修	専修実技	和声学	副科ピアノ	小論文	面接	計
	200点	100点	100点	100点	…	
ピアノ（オルガンを含む）	○	○	−	○	○	400点
声楽	○	○	○	○	○	500点
管楽器・打楽器（吹奏楽指導を含む）	○	○	○	○	○	500点
弦楽器（ハープを含む）	○	○	○	○	○	500点
作曲・指揮	○	○	○	○	○	500点
邦楽（箏曲）	○	−	−	−	○	200点

● 判定方法
専修実技とその他の科目に一定の基準を設け，それを満たした者について，専修実技の成績により判定します。

【音楽学部　音楽学科　教育文化コース　3年次編入】

専　修	専修実技	和声学	副科ピアノ	小論文	面接	計
	200点	100点	100点	100点	…	
音楽教育（ピアノ）	○	○	−	○	○	400点
音楽教育（声楽）	○	○	○	○	○	500点
音楽教育（管・打楽器）	○	○	○	○	○	500点
音楽教育（弦楽器）	○	○	○	○	○	500点
音楽デザイン	○	○	○	○	○	500点

● 判定方法
専修実技とその他の科目に一定の基準を設け，それを満たした者について，総合計の成績により判定します。

＜学部 3 年次編入学試験についての補足説明＞
①短期大学の音楽に関する学科または課程を卒業，または卒業見込みの者は，主科目（専修実技）と面接により試験
②作陽短期大学音楽専攻からⅡ期入試，Ⅲ期入試を受験する者は，卒業試験の点数も利用可
③音楽系大学出身者以外の者は上記科目を全て受験

試験科目の内容

科目名	内　　容
専修実技	p.14～「実技課題」参照
小論文	論理的な思考力や表現力を問う（テーマ…当日提示，文字数…1,200字程度，時間…60分）
和声学	Ⅰ，Ⅱ，Ⅳ，Ⅴ，Ⅵ，V_7，V_9と準固有和音及びそれらの転回形を含む
副科ピアノ	自由曲　※作曲・指揮専修は任意のソナタの第1楽章または終楽章（緩徐楽章は除く） ※反復なしで暗譜演奏
面接	グループ面接　面接は1組約15分程度

実技課題

ピアノ専修

試験科目	専修実技, 和声学, 小論文, 面接 ※ただし, 音楽に関する学科または課程からの受験の場合は, 和声学, 小論文を免除する。

●専修実技内容　自由曲１曲

〈注意事項〉

１．反復なし

２．暗譜演奏

ピアノ専修（オルガン）

試験科目	専修実技, 和声学, 副科ピアノ, 小論文, 面接 ※ただし, 音楽に関する学科または課程からの受験の場合は, 和声学, 副科ピアノ, 小論文を免除する。

●専修実技内容　自由曲１曲

〈注意事項〉

１．J.S.Bach の前奏曲とフーガ程度の任意の一曲

２．反復なし

３．暗譜演奏

声楽専修

試験科目	専修実技, 和声学, 副科ピアノ, 小論文, 面接 ※ただし, 音楽に関する学科または課程からの受験の場合は, 和声学, 副科ピアノ, 小論文を免除する。

●専修実技内容　自由曲２曲

〈注意事項〉

１．歌曲の場合, 調は自由であるが, オペラ, オラトリオのアリアは原調とする

２．原語で歌唱

３．反復なし

４．暗譜演奏

５．実技試験において伴奏者は必ず同伴すること

管楽器・打楽器専修

試験科目	専修実技, 和声学, 副科ピアノ, 小論文, 面接 ※ただし, 音楽に関する学科または課程からの受験の場合は, 和声学, 副科ピアノ, 小論文を免除する。

●専修実技内容　自由曲１曲

〈注意事項〉

１．反復なし

２．暗譜の必要なし

３．実技試験において伴奏者が必要な場合は必ず同伴すること

４．伴奏はなくても差し支えない

管楽器・打楽器専修（吹奏楽指導専修）

試験科目	専修実技，和声学，副科ピアノ，小論文，面接 ※ただし，音楽に関する学科または課程からの受験の場合は，和声学，副科ピアノ，小論文を免除する。

●専修実技内容　自由曲１曲

〈注意事項〉

１．反復なし

２．暗譜の必要なし

３．実技試験において伴奏者が必要な場合は必ず同伴すること

４．伴奏はなくても差し支えない

弦楽器専修

試験科目	専修実技，和声学，副科ピアノ，小論文，面接 ※ただし，音楽に関する学科または課程からの受験の場合は，和声学，副科ピアノ，小論文を免除する。

●専修実技内容　（A）自由曲１曲

（B）Sevcik：School of Violin Technique Op.1 Part1よりNo.12

〈注意事項〉

１．受験楽器はヴァイオリン，ヴィオラ，チェロ，コントラバスとする

２．ヴァイオリンは（A），（B）を演奏
　ヴィオラ，チェロ，コントラバスは（A）のみ演奏

３．反復なし

４．（A）は暗譜演奏。（B）は暗譜の必要なし。調は当日指定する

５．実技試験において伴奏者が必要な場合は必ず同伴すること

６．伴奏はなくても差し支えない

弦楽器専修（ハープ）

試験科目	専修実技，和声学，副科ピアノ，小論文，面接 ※ただし，音楽に関する学科または課程からの受験の場合は，和声学，副科ピアノ，小論文を免除する。

●専修実技内容　自由曲１曲

〈注意事項〉

１．反復なし

２．暗譜演奏

作曲・指揮専修

試験科目	専修実技，和声学，副科ピアノ，小論文，面接 ※ただし，音楽に関する学科または課程からの受験の場合は，和声学，副科ピアノ，小論文を免除する。

〈作曲〉

●専修実技内容　（A）作品（自作）の提出
　　（B）口頭試問（提出作品等に関する事項）

〈注意事項〉

1．作品は出願時に提出すること
2．提出された作品は返還しない

〈指揮〉

●専修実技内容　（A）新曲初見指揮
　　（B）Score Reading　弦楽四重奏程度。
　　（総譜視奏法）
　　（C）デピスタージ　受験生に単旋律の楽譜（12小節程度）を与え，試験担当者の行う演奏との相違点（誤った演奏）をその楽譜に記入。
　　（D）口頭試問　音楽一般に関する事項

邦楽（箏曲）専修

試験科目	専修実技，面接

●専修実技内容　自由曲１曲

〈注意事項〉

1．出願時に演奏する曲の楽譜を提出すること
2．反復なし
3．暗譜演奏
4．実技試験において伴奏者が必要な場合は必ず同伴すること
5．伴奏はなくても差し支えない

音楽総合専修

試験科目	専修実技，面接

●専修実技内容　自由曲１曲

〈注意事項〉

1．受験楽器はピアノ，声楽，フルート，オーボエ，クラリネット（B♭），ファゴット，サクソフォン（アルト），トランペット，ホルン，トロンボーン（テナー，バス），ユーフォニアム，テューバ，小太鼓，マリンバ，ヴァイオリン，ビオラ，チェロ，コントラバス
2．反復なし
3．暗譜演奏
4．実技試験において伴奏者が必要な場合は必ず同伴すること

音楽教育専修（ピアノ）

試験科目	専修実技，和声学，小論文，面接 ※ただし，音楽に関する学科または課程からの受験の場合は，和声学，小論文を免除する。

●専修実技内容　自由曲１曲

〈注意事項〉

1．反復なし
2．暗譜演奏

音楽教育専修（声楽）

試験科目	専修実技，和声学，副科ピアノ，小論文，面接 ※ただし，音楽に関する学科または課程からの受験の場合は，和声学，副科ピアノ，小論文を免除する。

●専修実技内容　自由曲２曲

〈注意事項〉

1．歌曲の場合，調は自由であるが，オペラ，オラトリオのアリアは原調とする
2．原語で歌唱
3．反復なし
4．暗譜演奏
5．実技試験において伴奏者は必ず同伴すること

音楽教育専修（管・打楽器）

試験科目	専修実技，和声学，副科ピアノ，小論文，面接 ※ただし，音楽に関する学科または課程からの受験の場合は，和声学，副科ピアノ，小論文を免除する。

●専修実技内容　自由曲１曲

〈注意事項〉

1．反復なし
2．暗譜の必要なし
3．実技試験において伴奏者が必要な場合は必ず同伴すること
4．伴奏はなくても差し支えない

音楽教育専修（弦楽器）

試験科目	専修実技，和声学，副科ピアノ，小論文，面接 ※ただし，音楽に関する学科または課程からの受験の場合は，和声学，副科ピアノ，小論文を免除する。

●専修実技内容　（A）自由曲１曲
（B）Sevcik：School of Violin Technique Op.1 Part1よりNo.12

〈注意事項〉

1．受験楽器はヴァイオリン，ヴィオラ，チェロ，コントラバスとする
2．ヴァイオリンは（A），（B）を演奏
ヴィオラ，チェロ，コントラバスは（A）のみ演奏
3．反復なし
4．（A）は暗譜演奏。（B）は暗譜の必要なし。調は当日指定する
5．実技試験において伴奏者が必要な場合は必ず同伴すること
6．伴奏はなくても差し支えない

音楽デザイン専修

試験科目	専修実技，和声学，副科ピアノ，小論文，面接 ※ただし，音楽に関する学科または課程からの受験の場合は，和声学，副科ピアノ，小論文を免除する。

●専修実技内容　（A）３～５分程度のオリジナル曲に映像を組み合わせた作品の提出
（B）口頭試問（提出作品等に関する事項）

〈注意事項〉

1．作品は拡張子がmp4（H.264コーデック，解像度1280×720）のデータをUSBメモリ等に収録して提出すること
2．作品は願書提出時に提出すること
3．提出された作品は返還しない

■短期大学

□短期大学 専攻科 音楽専攻

出願資格

(1) 短期大学の音楽に関する学科または課程を卒業した者，または 2026 年3月卒業見込みの者
(2) 大学の音楽に関する学科または課程に2年間以上在籍(62 単位以上修得)した者，または 2026 年3月 31 日で2年間以上在籍する見込みの者
(3) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上で，かつ課程の修了に必要な総授業時間数が 1,700 時間以上のものに限る)の修了者，または 2026 年3月修了見込みの者
(4) 前各号に掲げる者と同等以上の学力を有すると認められる者(4年制大学の学部2年次以上で 62 単位以上修得した者または 2026 年3月修得見込みの者，学士の学位または短期大学士の称号を既に修得している者，または 2026 年3月修得見込みの者等)

- 音楽系大学以外の出身で本学科に出願希望の方は，出願期間までに入試広報室へお問合わせください。
- 心身に障がいや不慮の事故による負傷者・疾病者で，受験上または就学にあたり配慮を希望する場合は，出願前に入試広報室までご相談ください。

入学検定料と出願書類

- 入学検定料　30,000 円
- 出願書類については，p.22 を参照してください。

日　　程

期	出願期間	試験日	合格発表	入学金納入期限	学費等納入期限
Ⅰ期	2025年 12月 2日(火)～ 12月 9日(火)[必着]	12月13日(土)	12月19日(金)	2026年 1月 9日(金)	1月23日(金)
Ⅱ期	2026年 1月13日(火)～ 1月21日(水)[必着]	2月 3日(火)、2月 4日(水)	2月13日(金)	2月20日(金)	2月27日(金)
Ⅲ期	2026年 2月20日(金)～ 3月 5日(木)[必着]	3月11日(水)	3月19日(木)	3月26日(木)	3月26日(木)

試験会場

本学（作陽短期大学）

合格発表

- 合否の結果通知は郵送とホームページで行います。なお，ホームページの合否結果の掲載期間は合格発表日の正午から3日間です。

試験科目と配点および判定方法

【作陽短期大学 専攻科 音楽専攻】

専　修	専修実技	面接	計
	200点	…	
ピアノ	○	○	200点
声楽	○	○	200点
管楽器	○	○	200点
打楽器	○	○	200点
弦楽器	○	○	200点
邦楽（箏曲）	○	○	200点

- 作陽短期大学音楽専攻からⅡ期入試，Ⅲ期入試を受験する者は，卒業試験の点数も利用可
- 判定方法
  専修実技とその他の科目に一定の基準を設け，それを満たした者について，専修実技の成績順に判定する。

試験科目の内容

科目名	内　　容
専修実技	p.20～「実技課題」参照
面接	グループ面接　面接は1組15分程度

実技課題

ピアノ専修

試験科目	専修実技, 面接

●専修実技内容　自由曲１曲

〈注意事項〉

１．反復なし

２．暗譜演奏

声楽専修

試験科目	専修実技, 面接

●専修実技内容　自由曲２曲

〈注意事項〉

１．歌曲の場合, 調は自由であるが, オペラ, オラトリオのアリアは原調とする

２．原語で歌唱

３．反復なし

４．暗譜演奏

５．実技試験において伴奏者は必ず同伴すること

管楽器専修

試験科目	専修実技, 面接

●専修実技内容　自由曲１曲

〈注意事項〉

１．反復なし

２．暗譜の必要なし

３．実技試験において伴奏者が必要な場合は必ず同伴すること

４．伴奏はなくても差し支えない

弦楽器専修

試験科目	専修実技, 面接

●専修実技内容　自由曲１曲

〈注意事項〉

１．受験楽器はヴァイオリン, ヴィオラ, チェロ, コントラバスとする

２．反復なし

３．暗譜演奏

４．実技試験において伴奏者が必要な場合は必ず同伴すること

５．伴奏はなくても差し支えない

打楽器専修

試験科目	専修実技，面接

●専修実技内容　自由曲１曲
〈注意事項〉
１．反復なし
２．暗譜の必要なし
３．実技試験において伴奏者が必要な場合は必ず同伴すること
４．伴奏はなくても差し支えない

邦楽（箏曲）専修

試験科目	専修実技，面接

●専修実技内容　自由曲１曲
〈注意事項〉
１．出願時に演奏する曲の楽譜を提出すること
２．反復なし
３．暗譜演奏
４．実技試験において伴奏者が必要な場合は必ず同伴すること
５．伴奏はなくても差し支えない

■音楽学部・短期大学

出願書類一覧

出願書類	音楽学部 3年次編入学	短期大学 専攻科音楽専攻	注意事項
入学願書	○	○	本学ホームページのWeb出願システムを通じて必要事項を入力して「各種支払番号」を控え，受験料を選択したコンビニエンスストアで支払ってください。 支払い後に受信する「インターネット出願支払完了」メールに記載されたURLにアクセスして「Web入学志願票」に「写真」を貼り付けてください。 （写真は縦4cm×横3cm。裏面に氏名を明記し貼付） ※複数の入試に同時に出願する場合は，それぞれ入学志願票が必要です。
受験曲目票	○	○	本学所定のもの。（作曲専修，音楽デザイン専修を除く） Web出願システムに必要事項を入力。
卒業証明書，卒業見込み証明書または修了証明書，修了見込み証明書	○	○	出身学校長が作成し，厳封したもの。
成績証明書	○	○	出身短期大学または大学の様式の証明書。
単位修得証明書	○	○	出身短期大学または大学の様式の証明書。
110円分切手	○	○	日程表送付用
レターパックプラス	○	○	合否通知送付用
作品	○	○	作曲専修または音楽デザイン専修を受験する場合に提出。

- 出願書類持参の場合は，出願期間中の平日17時までに入試広報室の窓口（1号館1階）へ持参してください。
（土・日・祝日は受付はしていません）

受験票について
出願締切日の翌日以降にWeb出願システムよりダウンロードしてください。
試験日当日に必ずご持参ください。

食文化学部

■食文化学部

□栄養学科/食マネジメント学科

出願資格

次のいずれかに該当する者

（1）短期大学を卒業した者，または2026年3月卒業見込みの者
（2）高等専門学校を卒業した者，または2026年3月卒業見込みの者
（3）専修学校の専門課程（修業年限が2年以上で，かつ課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上のものに限る）の修了者，または2026年3月修了見込みの者
（4）前各号に掲げる者と同等以上の学力を有すると認められる者

- 栄養学科の場合，原則，栄養士免許を取得済みまたは取得見込みの者とする。
- 編入学希望者は単位認定について事前相談が必要です。**出願期間までに必ずお問い合わせください。**（入試広報室　TEL 0120-911-394）
- 心身に障がいや不慮の事故による負傷者・疾病者で，受験上または就学にあたり配慮を希望する場合は，出願前に入試広報室までご相談ください。

出願書類

- 入学検定料　30,000 円
- 出願書類については，p.25 を参照してください。

日　　程

期	出願期間	試験日	合格発表	入学金納入期限	学費等納入期限
Ⅰ期	2025年11月 4日（火）～11月12日（水）［必着］	11月23日（日）	12月 2日（火）	12月 9日（火）	2026年1月23日（金）
Ⅱ期	2026年 1月13日（火）～ 1月21日（水）［必着］	2月 3日（火）	2月13日（金）	2月20日（金）	2月27日（金）
Ⅲ期	2026年 2月20日（金）～ 3月 5日（木）［必着］	3月11日（水）	3月19日（木）	3月26日（木）	3月26日（木）

試験会場

本学（くらしき作陽大学）

合格発表

- 合否の結果は郵送とホームページで行います。なお，ホームページの合否結果の掲載期間は合格発表日の正午から3日間です。

試験科目と試験時間および判定方法

- 受付　Ⅰ～Ⅲ期 13:00～13:15

試験科目	試験時間	配点および判定方法
筆記試験	13：30～14：30	【全学科共通】書類審査（出身学校の単位履修状況に関する書類），個人面接 【栄養学科】筆記試験（栄養学基礎：100点） 【食マネジメント学科】筆記試験（小論文：800字程度，テーマは当日指定：100点）により判定する。
個人面接	15：00～	

- 受験者数により，開始時刻が前後することがあります。

■食文化学部

取得可能な免許・資格

栄養学科	食マネジメント学科
• 管理栄養士国家試験受験資格 • 栄養士免許※4 • 栄養教諭一種免許※3 • 栄養心理サポーター資格 • 食品衛生管理者資格および 食品衛生監視員資格※1	• 栄養士免許 • 管理栄養士国家試験受験資格（要実務経験1年以上） • 栄養教諭二種免許※2 • 中学校・高等学校教諭一種免許（家庭）※2 • 食品衛生管理者および食品衛生監視員資格※1 • フードコーディネーター資格 • 家庭料理技能検定（3～1級） • 製菓衛生師受験資格 （京都製菓製パン技術専門学校のスクーリングを本学で受講することで取得可能。） • リテールマーケティング（販売士） • 災害食コンシェルジュ（本学独自の認定資格） • 商品企画開発士（本学独自の認定資格） • 健康増進栄養指導者資格（本学独自の認定資格）

※1 p.9参照
※2 これらの免許・資格を取得希望の者は，必要な科目を本学で履修しなければなりません（文部科学省により，当免許・資格が認可された大学での修得科目は単位として認定されます）。
ただし，編入学時における既修得単位数により，取得に2年以上を要する場合があります。
※3 既に栄養教諭二種免許を取得済みであることが前提です。
※4 原則，栄養士免許を取得済みまたは取得見込みの者とする。

出願書類一覧

出願書類	提出部数	注意事項
入学志願票	1部	本学ホームページのWeb出願システムより必要事項を入力して「各種支払番号」を控え，受験料を選択したコンビニエンスストアで支払ってください。 支払い後に受信する「インターネット出願支払完了」 メールに記載されたURLにアクセスして「Web入学志願票」に「写真」を貼り付けてください。 （写真は縦4cm×横3cm。裏面に氏名を明記し貼付） ※複数の入試に同時に出願する場合は，それぞれ入学志願票が必要です。
卒業証明書または卒業見込証明書	1部	出身学校長が作成し，厳封したもの。
成績証明書	1部	在学中の者は2026年3月までの履修中または履修予定の科目・単位が表示されている証明書。
単位修得証明書	1部	在学中の者は2026年3月までの履修中または履修予定の科目・単位が表示されている証明書。
在学時の学生便覧	1部	全カリキュラムの詳細がわかるもの。
シラバス（原本または写し）	1部	履修した授業内容の詳細がわかるもの。シラバスを事前に提出している者は提出しなくてよい。
レターパックプラス	1部	合否通知送付用

※ 出願書類持参の場合は，出願期間中の平日 17 時までに入試広報室の窓口（1 号館 1 階）へ持参してください。
（土・日・祝日は受付はしていません）

受験票について
出願締切日の翌日以降に Web出願システムよりダウンロードしてください。
試験日当日に必ずご持参ください。

カリキュラム

２学科（全学共通科目）

		授業科目名	授業形態	単位数
全学共通科目	大学で学ぶための入門科目群	創立者松田藤子の志	講義	1
		創立者松田藤子の教え	講義	1
		キャンパスライフデザインⅠ	演習	2
		キャンパスライフデザインⅡ	演習	2
		IT リテラシー基礎	演習	2
		ラーニングスキルズ	演習	1
	人生に役立つ知力・体力を育てる科目群	日本国憲法	講義	2
		心理学	講義	2
		キャリアライフデザイン	演習	1
		Basic English A	演習	1
		Basic English B	演習	1
		Advanced English A	演習	1
		Advanced English B	演習	1
		健康科学	講義	1
		健康スポーツ	実技	1
		マリンスポーツ	実技	1
		ウィンタースポーツ	実技	1
		ひとの心を動かすひとになる講座	講義	1
	新しい時代を生きるための科目群	英会話	演習	1
		フランス語会話	演習	1
		イタリア語会話	演習	1
		ドイツ語会話	演習	1
		中国語会話	演習	1
		実践英会話	演習	1
		くらしき学講座	講義	1
		コミュニティライフデザイン	演習	1
		若衆実践演習	演習	2
		データサイエンス	講義	2
	社会人として仕事で役立つ科目群	大乗仏教から学ぶ人間形成Ⅰ	講義	1
		大乗仏教から学ぶ人間形成Ⅱ	講義	1
		ワークライフデザイン	演習	2
		社会人マナー講座	演習	1
		新聞活用教育（NIE）	演習	1
		英語資格・検定セミナー	演習	2
		インターンシップ	演習	2
		実践コミュニケーション	演習	2
		仕事で役立つパソコン活用法	演習	2

栄養学科（学科開講科目）

		授業科目名	授業形態	単位数
学科開講科目	将来の自分を考える科目群	管理栄養士入門Ⅰ	演習	1
		管理栄養士入門Ⅱ	演習	1
		食活人キャリアⅠ	演習	1
		食活人キャリアⅡ	演習	1
		食活人キャリアⅢ	演習	1
		食活人キャリアⅣ	演習	1
		食活人キャリアⅤ	演習	1
		食活人地域フィールドワーク	演習	1
	「食」の理解に役立つ科目群	化学基礎	講義	2
		生物学基礎	講義	2
		食料経済	講義	2
		食文化論	講義	2
		情報処理	演習	2
		食統計学	講義	2
		医学概論	講義	2
		日本食一次予防論	講義	2
	社会・環境と健康を学ぶ科目群	公衆衛生学	講義	2
		社会福祉概論	講義	2
		健康情報管理学	講義	2
		健康情報管理実習Ⅰ	実習	1
		健康情報管理実習Ⅱ	実習	1
	ヒトの体と疾病を学ぶ科目群	解剖生理学Ⅰ	講義	2
		解剖生理学Ⅱ	講義	2
		栄養生化学	講義	2
		運動生理学	講義	2
		病理病態学	講義	2
		病態生化学	講義	2
		解剖生理学実習	実習	1
		栄養生理・生化学実験	実験	1
		病態生化学実習	実習	1
		微生物学	講義	2
	食べ物に関する知識を深める科目群	食品学Ⅰ	講義	2
		食品学Ⅱ	講義	2
		食品衛生学	講義	2
		調理学	講義	2
		調理学実習Ⅰ	実習	1
		調理学実習Ⅱ	実習	1
		食品学実験Ⅰ	実験	1
		食品学実験Ⅱ	実験	1
		食品衛生学実験	実験	1
	栄養と健康を学ぶ科目群	基礎栄養学Ⅰ	講義	2
		基礎栄養学Ⅱ	講義	2
		栄養学実習	実習	1
		応用栄養学Ⅰ	講義	2
		応用栄養学Ⅱ	講義	2
		応用栄養学Ⅲ	講義	2
		応用栄養学実習	実習	1
	栄養教育と公衆栄養活動を学ぶ科目群	栄養教育論Ⅰ	講義	2
		栄養教育論Ⅱ	講義	2
		ヘルスカウンセリング論	講義	2
		栄養教育論実習Ⅰ	実習	1
		栄養教育論実習Ⅱ	実習	1
		公衆栄養学Ⅰ	講義	2
		公衆栄養学Ⅱ	講義	2
		公衆栄養学実習	実習	1
	医療における栄養管理を学ぶ科目群	臨床栄養学Ⅰ	講義	2
		臨床栄養学Ⅱ	講義	2
		臨床栄養学実習Ⅰ	実習	1
		臨床栄養学実習Ⅱ	実習	1
		栄養治療学	講義	2
		臨床栄養管理論	講義	2
	給食の運営と経営を学ぶ科目群	フードシステム論	講義	2
		給食経営管理論	講義	2
		給食経営管理実習Ⅰ	実習	1
		給食経営管理実習Ⅱ	実習	1
		ヘルスケアマネジメント実習 A	実習	1
		ヘルスケアマネジメント実習 B	実習	1
	専門領域を統合して応用力を深める科目群	総合演習Ⅰ	演習	1
		総合演習Ⅱ	演習	1
		総合演習Ⅲ	演習	1
		総合演習Ⅳ	演習	1
		給食管理校外実習	実習	1
		臨床栄養学臨地実習	実習	2
		公衆栄養学臨地実習	実習	1
		給食経営管理臨地実習	実習	1
		栄養学演習	演習	2
		卒業研究	卒業研究	2

食マネジメント学科（学科開講科目）

		授業科目名	授業形態	単位数
学科開講科目	将来の自分を考える科目群	食活人キャリアⅠ	演習	1
		食活人キャリアⅡ	演習	1
		食活人キャリアⅢ	演習	1
		食活人キャリアⅣ	演習	1
		食活人キャリアⅤ	演習	1
		食活人キャリアⅥ	演習	1
		食活人地域フィールドワーク	演習	1
		キャリアデザイン研修	演習	2
		栄養士実力養成セミナー	演習	2
		リテールマーケティング（販売士）養成セミナー	演習	2
		教師力養成セミナーA	演習	2
		教師力養成セミナーB	演習	2
		フードコーディネーター養成セミナー	演習	1
	「食」の理解に役立つ科目群	化学基礎	講義	2
		生物学基礎	講義	2
		食文化論	講義	2
		基礎実験	実験	1
		地産地消実習	実習	1
		情報処理	演習	2
		経済学	講義	2
		食統計学	講義	2
		日本食一次予防論	講義	2
	豊かな生活を送るために学ぶ科目群	住居学	講義	2
		家族関係学	講義	2
		家庭経営学（家庭経済学を含む）	講義	2
		被服学概論	講義	2
		被服実習Ⅰ	実習	1
		被服実習Ⅱ	実習	1
	社会・環境を学ぶ科目群	社会福祉概論	講義	2
		公衆衛生学（含健康管理概論）	講義	2
		食品衛生学	講義	2
		食品衛生学実験	実験	1
	ヒトの体を学ぶ科目群	解剖生理学Ⅰ	講義	2
		解剖生理学Ⅱ	講義	2
		生化学	講義	2
		病理学	講義	2
		解剖生理学実習	実習	1
		栄養生理・生化学実験	実験	1
	食べ物に関する知識を深める科目群	食品学Ⅰ	講義	2
		食品学Ⅱ	講義	2
		食品学実験	実験	1
		発酵食品論	講義	2
		食品保蔵科学	講義	2
		食品機能論	講義	2
	調理の知識と技術を深める科目群	調理学	講義	2
		調理学実習Ⅰ	実習	1
		調理学実習Ⅱ	実習	1
		日本の料理	実習	1
		家庭料理の知識と技能	演習	2
		世界の料理	実習	1
	栄養と健康を学ぶ科目群	栄養学総論	講義	2
		栄養学各論	講義	2
		栄養学実習Ⅰ	実習	1
		栄養学実習Ⅱ	実習	1
		臨床栄養学概論	講義	2
		臨床栄養学各論	講義	2
		臨床栄養学実習	実習	1
	栄養の指導を学ぶ科目群	栄養指導論Ⅰ	講義	2
		栄養指導論Ⅱ	講義	2
		公衆栄養学Ⅰ	講義	2
		公衆栄養学Ⅱ	講義	2
		栄養指導実習Ⅰ	実習	1
		栄養指導実習Ⅱ	実習	1
	給食の運営に関する知識と技術を深める科目群	災害食計画論	講義	2
		給食管理	講義	2
		給食管理実習	実習	1
		給食計画論実習	実習	1
		給食管理校外実習	実習	1
		校外実習総合演習	演習	1
		ヘルスケアマネジメント実習 A	実習	1
		ヘルスケアマネジメント実習 B	実習	1
	専門知識を深める科目群	食育企画演習	演習	1
	食育 家庭科教育	保育学	併用	2
		栄養士スキルアップ実習	実習	2
		子育てと栄養	講義	2
		食育実践演習	演習	1
		家庭科教育法Ⅰ	講義	2
		家庭科教育法Ⅱ	講義	2
		家庭科教育法Ⅲ	講義	2
		家庭科教育法Ⅳ	講義	2
		教育活動実践演習	演習	1
	健康増進とスポーツ栄養	運動プログラム演習 A	演習	1
		運動プログラム演習 B	演習	1
		運動生理学	講義	2
		スポーツ栄養学	講義	2
		スポーツフード実習	実習	1
		健康増進実践演習	演習	1
	商品開発と流通	マーケティング論	講義	2
		食品加工学	講義	2
		食品加工学実習（製菓・製パン含む）	実習	1
		商品開発論Ⅰ	講義	2
		商品開発論Ⅱ	講義	2
		商品開発実習Ⅰ	実習	1
		商品開発実習Ⅱ	実習	1
		商品企画開発演習	演習	1
	フードコーディネイトと食環境	デザイン基礎（色彩学・造形基礎）	演習	1
		食生活の文化論	講義	2
		地域活性食企画演習	演習	2
		食環境心理とインテリアデザイン	講義	2
		フードスタイルマネジメント演習	演習	2
		店舗デザイン・メニュー開発実習	実習	1
		総合演習	演習	1
		卒業研究	卒業研究	4

※各種免許・資格の取得には上記以外の科目の履修が必要となる場合もあります。

子ども教育学部

■子ども教育学部

出願資格

次のいずれかに該当する者で，子ども教育学科での学修に強い意欲を持つ者

（1）短期大学を卒業した者，または 2026 年3月卒業見込みの者
（2）高等専門学校を卒業した者，または 2026 年3月卒業見込みの者
（3）専修学校の専門課程（修業年限が2年以上で，かつ課程の修了に必要な総授業時間数が 1,700 時間以上のものに限る）の修了者，または 2026 年 3 月修了見込みの者
（4）前各号に掲げる者と同等以上の学力を有すると認められる者
- （1）～（3）については，幼稚園教諭・小学校教諭・養護教諭養成課程の卒業または卒業見込み，あるいは保育士養成課程の修了または修了見込み，あるいは保育士資格取得済みの者が望ましい。

- 編入学希望者は単位認定について事前相談が必要です。**出願期間までに必ずお問い合わせください。**（入試広報室　TEL 0120-911-394）
- 心身に障がいや不慮の事故による負傷者・疾病者で，受験上または就学にあたり配慮を希望する場合は，出願前に入試広報室までご相談ください。

入学検定料と出願書類

- 入学検定料　30,000 円
- 出願書類については，p.29 を参照してください。

日　　程

期	出願期間	試験日	合格発表	入学金納入期限	学費等納入期限
Ⅰ期	2025年11月 4日（火）～11月12日（水）［必着］	11月23日（日）	12月 2日（火）	12月 9日（火）	2026年1月23日（金）
Ⅱ期	2026年 1月13日（火）～ 1月21日（水）［必着］	2月 3日（火）	2月13日（金）	2月20日（金）	2月27日（金）
Ⅲ期	2026年 2月20日（金）～ 3月 5日（木）［必着］	3月11日（水）	3月19日（木）	3月26日（木）	3月26日（木）

試験会場

本学（くらしき作陽大学）

合格発表

- 合否の結果は郵送とホームページで行います。なお，ホームページの合否結果の掲載期間は合格発表日の正午から3日間です。

試験科目と試験時間および判定方法

- 受付　Ⅰ～Ⅲ期 13:00～13:15

試験科目	試験時間	配点および判定方法
小論文	13:30～14:30	書類審査（出身学校の単位履修状況に関する書類），小論文（800字程度，テーマは当日指定：100点）および個人面接（50点）により判定する。
個人面接	15:00～	

- 受験者数により，開始時刻が前後することがあります。

■子ども教育学部

取得可能な免許・資格

子ども教育学科	
• 保育士資格 • 幼稚園教諭一種免許状 • 小学校教諭一種免許状 • 特別支援学校教諭一種免許状 （知的障害者・肢体不自由者・病弱者に関する教育）	• 認定ベビーシッター ※編入学後，取得できる免許・資格については，それまでに修得した単位等により異なりますので，事前にご相談ください。

出願書類一覧

出願書類	提出部数	注意事項
入学志願票	1部	本学ホームページのWeb出願システムより必要事項を入力して「各種支払番号」を控え，受験料を選択したコンビニエンスストアで支払ってください。 支払い後に受信する「インターネット出願支払完了」 メールに記載されたURLにアクセスして「Web入学志願票」に「写真」を貼り付けてください。 （写真は縦4cm×横3cm。裏面に氏名を明記し貼付） ※複数の入試に同時に出願する場合は，それぞれ入学志願票が必要です。
卒業証明書または卒業見込証明書	1部	出身学校長が作成し，厳封したもの。
成績証明書	1部	在学中の者は2026年3月までの履修中または履修予定の科目・単位が表示されている証明書。
単位修得証明書	1部	在学中の者は2026年3月までの履修中または履修予定の科目・単位が表示されている証明書。
在学時の学生便覧	1部	全カリキュラムの詳細がわかるもの。
シラバス（原本または写し）	1部	履修した授業内容の詳細がわかるもの。シラバスを事前に提出している者は提出しなくてよい。
レターパックプラス	1部	合否通知送付用

※ 出願書類持参の場合は，出願期間中の平日 17 時までに入試広報室の窓口（1 号館 1 階）へ持参してください。
（土・日・祝日の受付はしていません）

受験票について
出願締切日の翌日以降に Web出願システムよりダウンロードしてください。
試験日当日に必ずご持参ください。

■子ども教育学部

カリキュラム

子ども教育学科

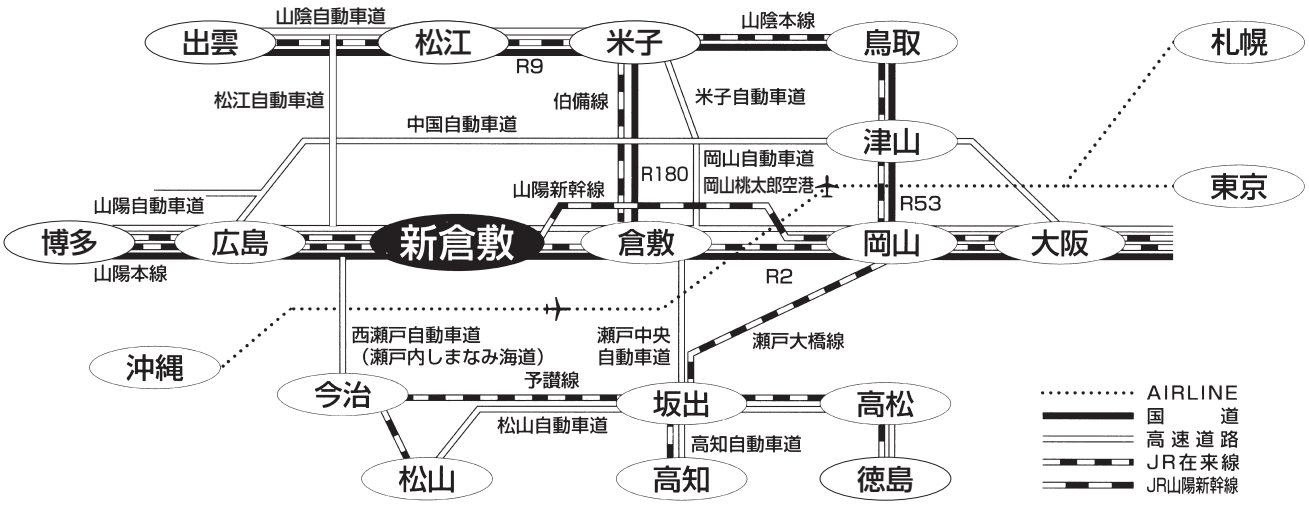
		授業科目名	授業形態	単位数
全学共通科目	大学で学ぶための入門科目群	創立者松田藤子の志	講義	1
		創立者松田藤子の教え	講義	1
		キャンパスライフデザインⅠ	演習	2
		キャンパスライフデザインⅡ	演習	2
		ITリテラシー基礎	演習	2
		ラーニングスキルズ	演習	1
	人生に役立つ知力・体力を育てる科目群	日本国憲法	講義	2
		心理学	講義	2
		キャリアライフデザイン	演習	1
		Basic English A	演習	1
		Basic English B	演習	1
		Advanced English A	演習	1
		Advanced English B	演習	1
		健康科学	講義	1
		健康スポーツ	実技	1
		マリンスポーツ	実技	1
		ウィンタースポーツ	実技	1
		ひとの心を動かすひとになる講座	講義	1
	新しい時代を生きるための科目群	英会話	演習	1
		フランス語会話	演習	1
		イタリア語会話	演習	1
		ドイツ語会話	演習	1
		中国語会話	演習	1
		実践英会話	演習	1
		くらしき学講座	講義	1
		コミュニティライフデザイン	演習	1
		若衆実践演習	演習	2
		データサイエンス	講義	2
	社会人として仕事で役立つ科目群	大乗仏教から学ぶ人間形成Ⅰ	講義	1
		大乗仏教から学ぶ人間形成Ⅱ	講義	1
		ワークライフデザイン	演習	2
		社会人マナー講座	演習	1
		新聞活用教育（NIE）	演習	1
		英語資格・検定セミナー	演習	2
		インターンシップ	演習	2
		実践コミュニケーション	演習	2
		仕事で役立つパソコン活用法	演習	2
学科開講科目	キャリア教育に関する科目群	育人キャリアⅠ	演習	2
		育人キャリアⅡ	演習	2
		育人キャリアⅢ	演習	2
		育人キャリアⅣ	演習	1
		育人地域フィールドワーク	演習	1
		育スパート入門	演習	2
		育スパート基礎	演習	1
		育スパート総合	演習	2
		子ども文化理論演習	演習	2
		子ども文化実践演習	演習	2
		学習支援理論演習	併用	2
		学習支援実践演習	演習	2
		子育て支援実践演習	演習	1
	保育・教育の本質・基礎的理解に関する科目群	保育原理	講義	2
		教育学概論	講義	2
		保育・教職論	併用	2
		学級経営論	講義	1
		教育の制度と経営	併用	2
		子ども家庭福祉	講義	2
		社会福祉	講義	2
		子ども家庭支援論	講義	2
		社会的養護Ⅰ	講義	2
		幼児教育課程論	講義	2
		小学校教育課程論	講義	2
	子どもの理解に関する科目群	教育心理学	講義	2
		子ども家庭支援の心理学	講義	2
		子どもの保健	講義	2
		子どもの食と栄養	演習	2
		子ども理解の理論および方法	講義	1
		生徒・進路指導論	講義	2
		教育相談の理論と方法	講義	1

		授業科目名	授業形態	単位数
学科開講科目	保育・子育てを学ぶ科目群	保育内容総論	演習	1
		保育内容（健康）	演習	1
		保育内容（人間関係）	演習	1
		保育内容（環境）	演習	1
		保育内容（言葉）	演習	1
		保育内容（表現）	演習	1
		乳児保育Ⅰ	講義	2
		乳児保育Ⅱ	演習	1
		子どもの健康と安全	演習	1
		障害児保育Ⅰ	演習	1
		障害児保育Ⅱ	演習	1
		社会的養護Ⅱ	演習	1
		子育て支援	演習	1
		在宅保育	講義	2
		リトミック	演習	2
	保育・教育の専門性を高める科目群	子ども文化Ⅰ	演習	1
		子ども文化Ⅱ	演習	1
		国語Ⅰ（書写を含む。）	講義	2
		国語Ⅱ	講義	1
		社会Ⅰ	講義	2
		社会Ⅱ	講義	1
		算数Ⅰ	講義	2
		算数Ⅱ	講義	1
		理科Ⅰ	講義	2
		理科Ⅱ	講義	1
		生活Ⅰ	併用	2
		生活Ⅱ	併用	1
		音楽基礎Ⅰ	演習	1
		音楽基礎Ⅱ	演習	1
		ピアノ演習Ⅰ	個人実技	1
		ピアノ演習Ⅱ	個人実技	1
		ピアノ演習Ⅲ	個人実技	1
		ピアノ演習Ⅳ	個人実技	1
		ピアノ演習Ⅴ	個人実技	1
		ピアノ演習Ⅵ	個人実技	1
		ピアノ演習Ⅶ	個人実技	1
		ピアノ演習Ⅷ	個人実技	1
		声楽Ⅰ	演習	1
		声楽Ⅱ	演習	1
		弾き歌いⅠ	演習	1
		弾き歌いⅡ	演習	1
		弾き歌いⅢ	演習	1
		弾き歌いⅣ	演習	1
		図画工作Ⅰ	演習	1
		図画工作Ⅱ	演習	1
		家庭Ⅰ	講義	2
		家庭Ⅱ	講義	1
		体育Ⅰ	演習	1
		体育Ⅱ	演習	1
		小学校英語Ⅰ	併用	2
		小学校英語Ⅱ	併用	1
	保育・教育の方法・指導法を学ぶ科目群	保育内容（健康）の指導法	講義	2
		保育内容（人間関係）の指導法	講義	2
		保育内容（環境）の指導法	講義	2
		保育内容（言葉）の指導法	講義	2
		保育内容（表現）の指導法	講義	2
		国語科指導法(書写を含む。)	講義	2
		社会科指導法	講義	2
		算数科指導法	講義	2
		理科指導法	講義	2
		生活科指導法	併用	2
		音楽科指導法	講義	2
		図画工作科指導法	講義	2
		家庭科指導法	講義	2
		体育科指導法	講義	2
		小学校英語指導法	併用	2
		道徳の理論および指導法	講義	2
		総合的な学習の時間の指導法	併用	2
		特別活動の指導法	講義	1
		初等教育方法論（情報通信技術の活用を含む。）	講義	2

		授業科目名	授業形態	単位数
学科開講科目	特別支援教育を学ぶ科目群	特別支援教育総論	講義	2
		発達障害児教育総論	講義	2
		視覚障害児教育総論	講義	1
		聴覚障害児教育総論	講義	1
		重複障害児教育総論	講義	2
		知的障害児の心理・生理・病理	講義	2
		肢体不自由児の心理・生理・病理	講義	2
		病虚弱児の心理・生理・病理	講義	2
		知的障害児の教育Ⅰ	講義	2
		肢体不自由児の教育Ⅰ	講義	2
		病虚弱児の教育Ⅰ	講義	2
		知的障害児の教育Ⅱ	講義	2
		肢体不自由児の教育Ⅱ	講義	2
		病虚弱児の教育Ⅱ	講義	2
		特別支援学校教育実習	実習	3
		発達支援理論演習	併用	2
		発達支援実践演習	演習	2
		行動・学習支援理論演習	併用	2
		行動・学習支援実践演習	演習	2
		自立活動理論演習	併用	2
		自立活動実践演習	演習	2
	子ども教育力を統合する科目群	保育実習指導Ⅰ	演習	2
		保育実習Ⅰ	実習	4
		保育実習指導Ⅱ	演習	1
		保育実習Ⅱ	実習	2
		保育実習指導Ⅲ	演習	1
		保育実習Ⅲ	実習	2
		教育実習	実習	5
		教育実習Ⅰ	実習	3
		教育実習Ⅱ	実習	3
		保育・教職実践演習（幼・小）	演習	2
		教職実践演習（幼・小）	演習	2
		保育・教職インターンシップ	実習	1
		ゼミナールⅠ	併用	1
		ゼミナールⅡ	併用	1
		ゼミナールⅢ	併用	2
		ゼミナールⅣ	併用	2

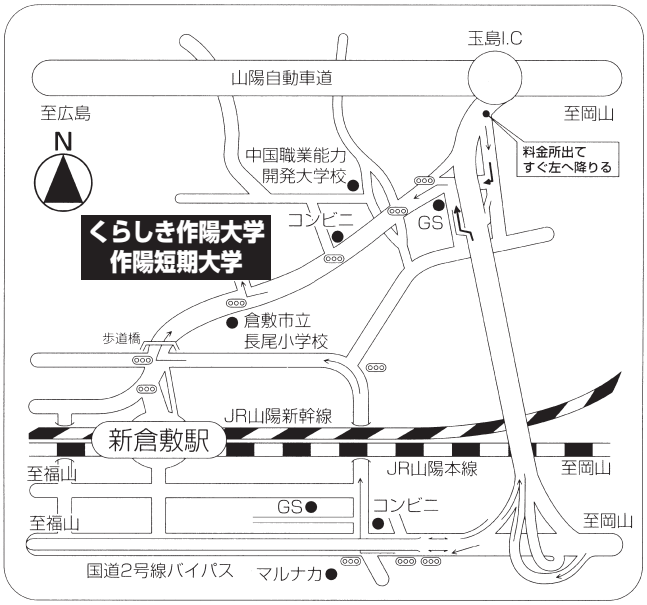
※各種免許・資格の取得には上記以外の科目の履修が必要となる場合もあります。

大学までのアクセス



本学案内図

※山陽新幹線・山陽本線「新倉敷駅」北口下車，徒歩15分。
山陽自動車道玉島ICより車で5分。



新倉敷へ

東京から新幹線 ……3時間30分
名古屋から新幹線 ……1時間50分
新大阪から新幹線 ……1時間
広島から新幹線 ……45分
博多から新幹線 ……2時間
米子から伯備線特急倉敷経由 ……2時間10分
高松から瀬戸大橋線岡山経由 ……1時間10分

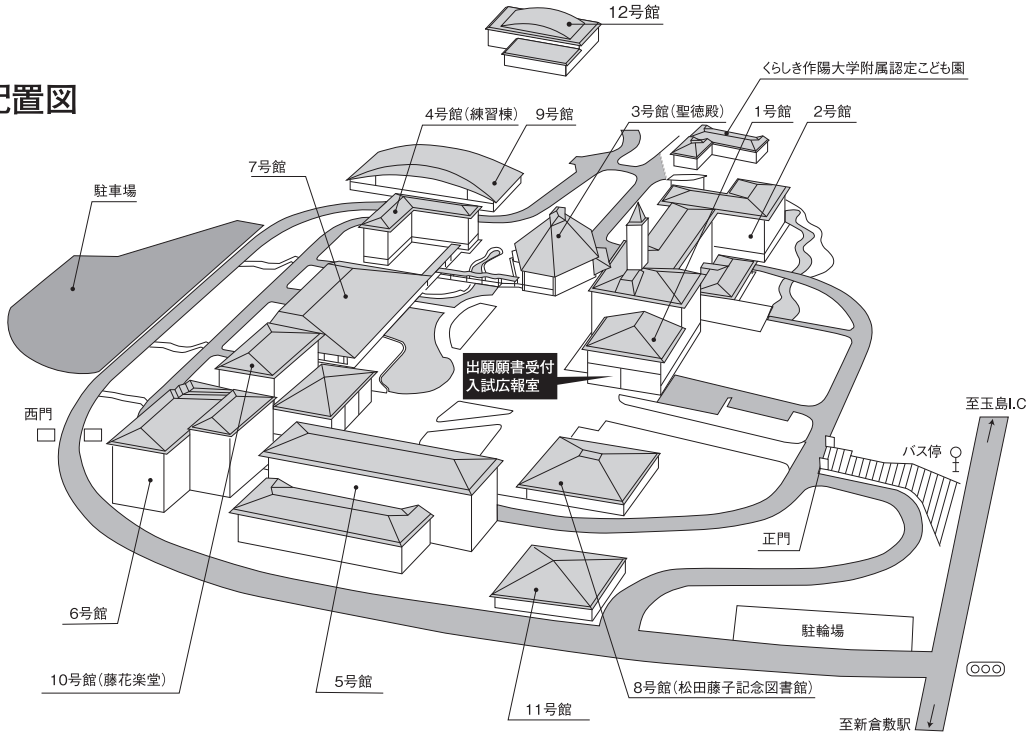
岡山桃太郎空港

札幌(北海道)から ……2時間10分
東京から ……1時間20分
沖縄から ……1時間45分

玉島I.Cへ

瀬戸中央自動車道・山陽自動車道で
　坂出I.Cから玉島I.Cまで ……45分
米子自動車道・岡山自動車道で
　米子I.Cから玉島I.Cまで ……1時間50分
しまなみ海道・山陽自動車道で
　今治I.Cから玉島I.Cまで ……2時間20分

校舎配置図



くらしき作陽大学
作陽短期大学

〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾3515
TEL.086-523-0808　FAX.086-523-0811
ホームページアドレス　https://www.ksu.ac.jp
0120-911-394（入試広報室）